

ESD-Jオンラインセミナー

# 「なぜNPOは政策提言を行うのか」

2023年1月6日（金）

---

NPO法人市民社会研究所 代表理事  
松井真理子

# 本日の内容

---

- 1 自己紹介
- 2 NPOの機能と特性
- 3 事例からみるNPOの機能
- 4 NPOが政策提言をする意味

# 1 自己紹介

1983年4月～1998年3月 島根県庁職員

(うち1991年4月～1994年8月 (財)自治体国際化協会出向)

1998年4月～2001年3月 NPO法人斐伊川流域環境ネットワーク事務局長  
(県庁在職中に立ち上げたNPO)

2001年4月～2023年3月 四日市大学総合政策学部教授・同特任教授

## 【現在のNPO活動】

- ・NPO法人市民社会研究所代表理事 (2004年～)
- ・NPO法人みえNPOネットワークセンター代表理事 (2011年～)
- ・公益財団法人ささえあいのまち創造基金理事 (2012年～)
- ・東海市民社会ネットワーク共同代表 (2016年～)

# 市民社会研究所の事業体系

## ひと

- ・市民教育
  - ・人権学習・啓発
  - ・ディベート
  - ・各種学習会
- ・就労困難者の支援
  - ・サポステ
  - ・伊勢おやき本舗
  - ・トレーニングカフェ
- ・生活困窮者支援

## つなぐ

- ・つながりの仕事おこし
- ・コミュニティ・オーガナイズ  
ングの学習・実践
- ・ネットワーク型中間支援  
組織の構築・事務局
  - ・みえNPOネットワークセンター
  - ・ささえあいのまち創造基金  
(四日市NPO協会)
  - ・東海市民社会ネットワーク

## 変える

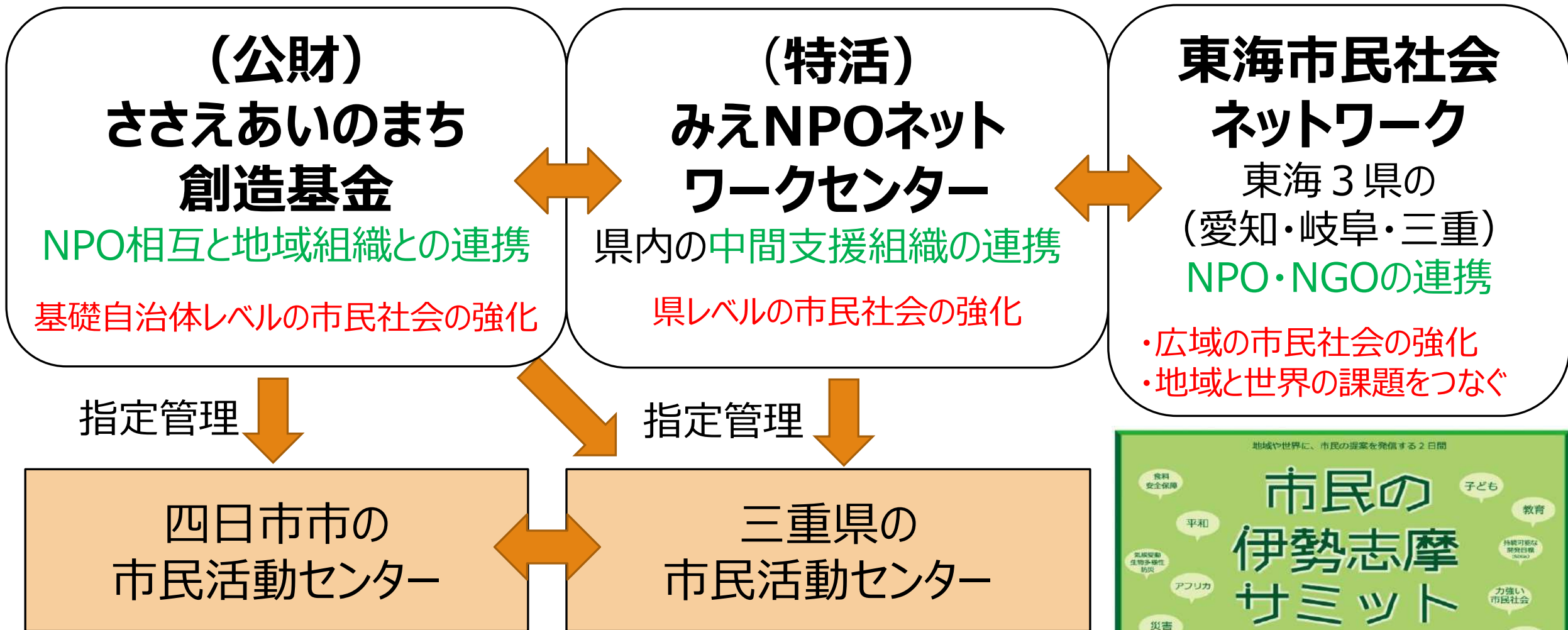
- ・行政への市民参加
  - NPOによる集团的パブリック  
コメントなど
- ・行政等との政策対話  
/政策提言
- ・調査研究
  - (例) 市民のためのパブリックコメント  
自治体におけるNPOのアドボ  
カシー戦略  
自治体とNPOの協働の課題

市民社会研究所  
(B~2F)

スプラウト  
(1F)



# ネットワーク型中間支援組織と相互関係



## 2 NPOの機能と特性

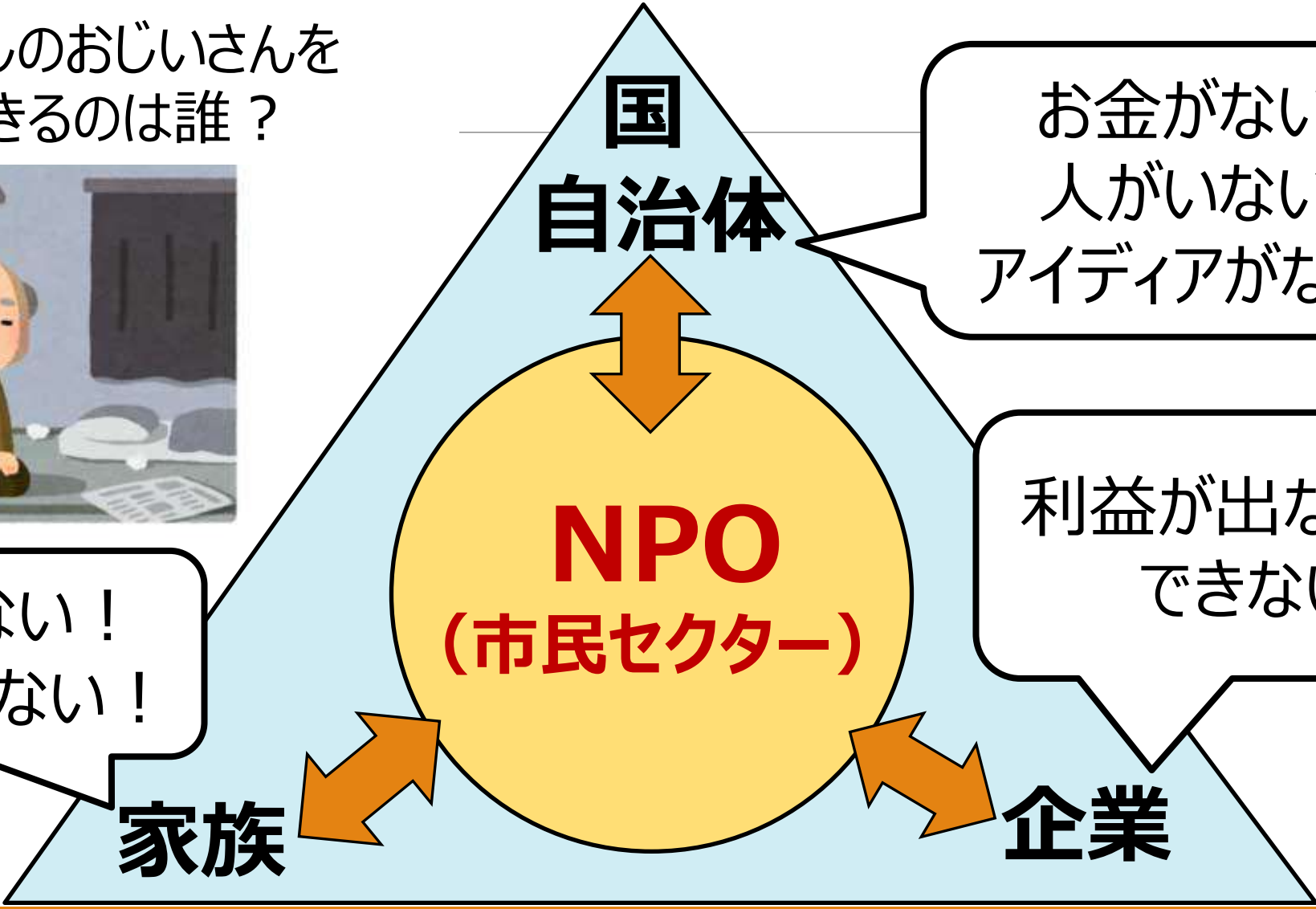
機能	対象	内 容
サービス提供機能	サービスの受益者	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会の潜在的な課題を発見し、創造的で迅速なサービスを提供する</li><li>・当事者のニーズにきめ細かに寄り添い、利益が出ない活動も行う</li></ul>
コミュニティ構築機能	市民サービスの受益者	<ul style="list-style-type: none"><li>・主体的に社会課題に取り組む市民性を育てる</li><li>・人々のつながり（社会関係資本）を創る</li><li>・課題当事者をエンパワーメントする</li></ul>
アドボカシー機能	政府 自治体 社会全般	<ul style="list-style-type: none"><li>・政策提言・対話、陳情 など</li><li>・学習会等による啓発や世論形成、調査研究</li><li>・新しい課題に対する創造的な活動の実践 など</li></ul>

# ①サービス提供機能にみるNPOの独自性

例) 1人暮らしのおじいさんを  
元気にできるのは誰？



家族がいない！  
家族がやれない！



お金がない！  
人がいない！  
アイディアがない！

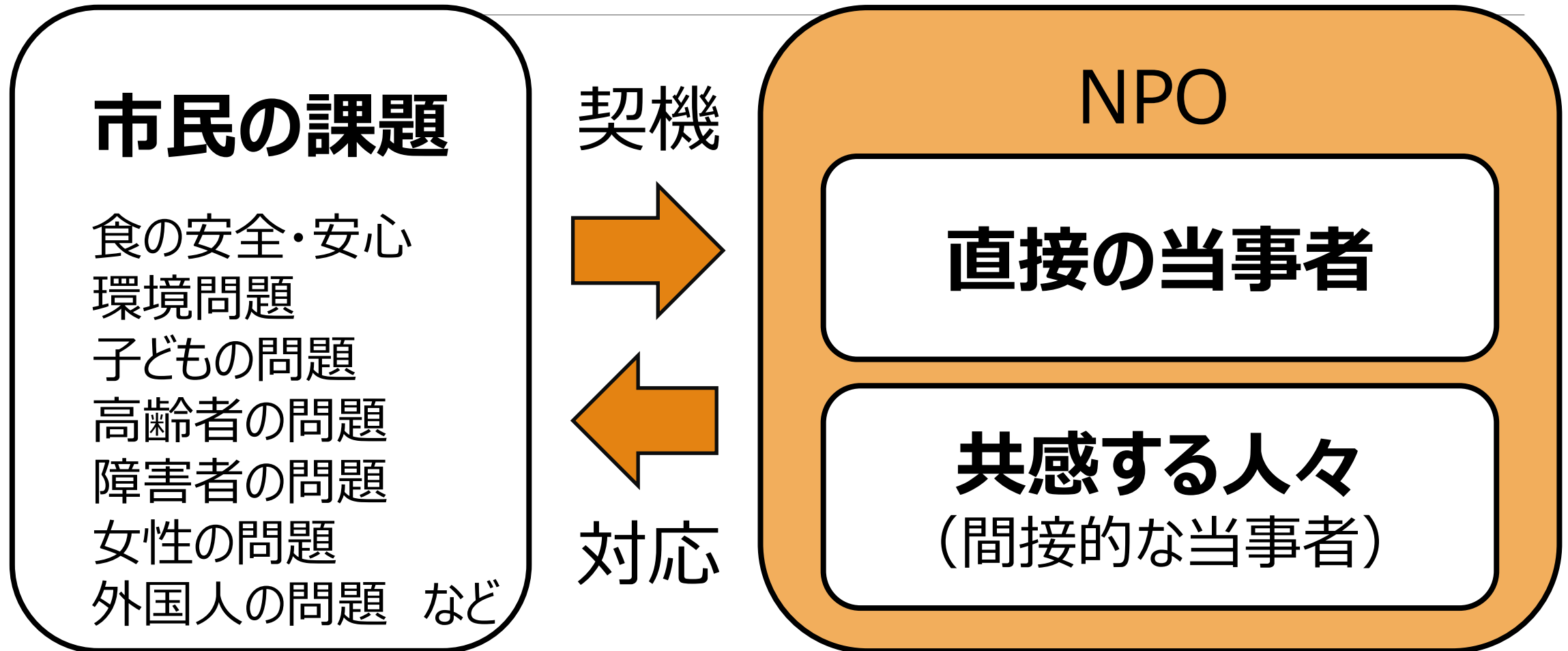
利益が出ないことは  
できない！

家族

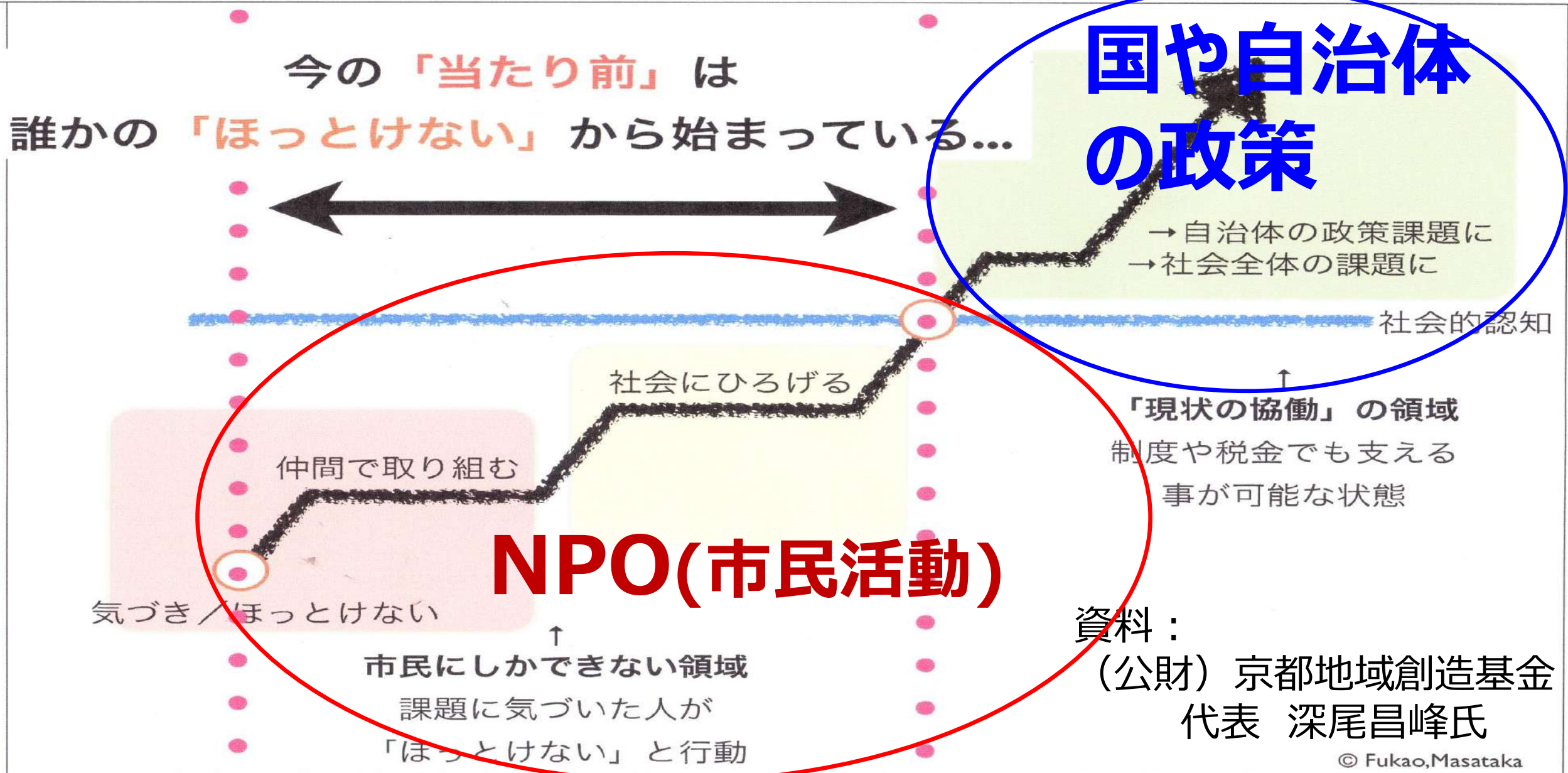
企業



## ②コミュニティ構築機能にみるNPOの独自性 「市民性（当事者性）」



# ③アドボカシー機能にみるNPOの独自性



資料：  
(公財) 京都地域創造基金  
代表 深尾昌峰氏

# 3 事例からみる NPOの機能

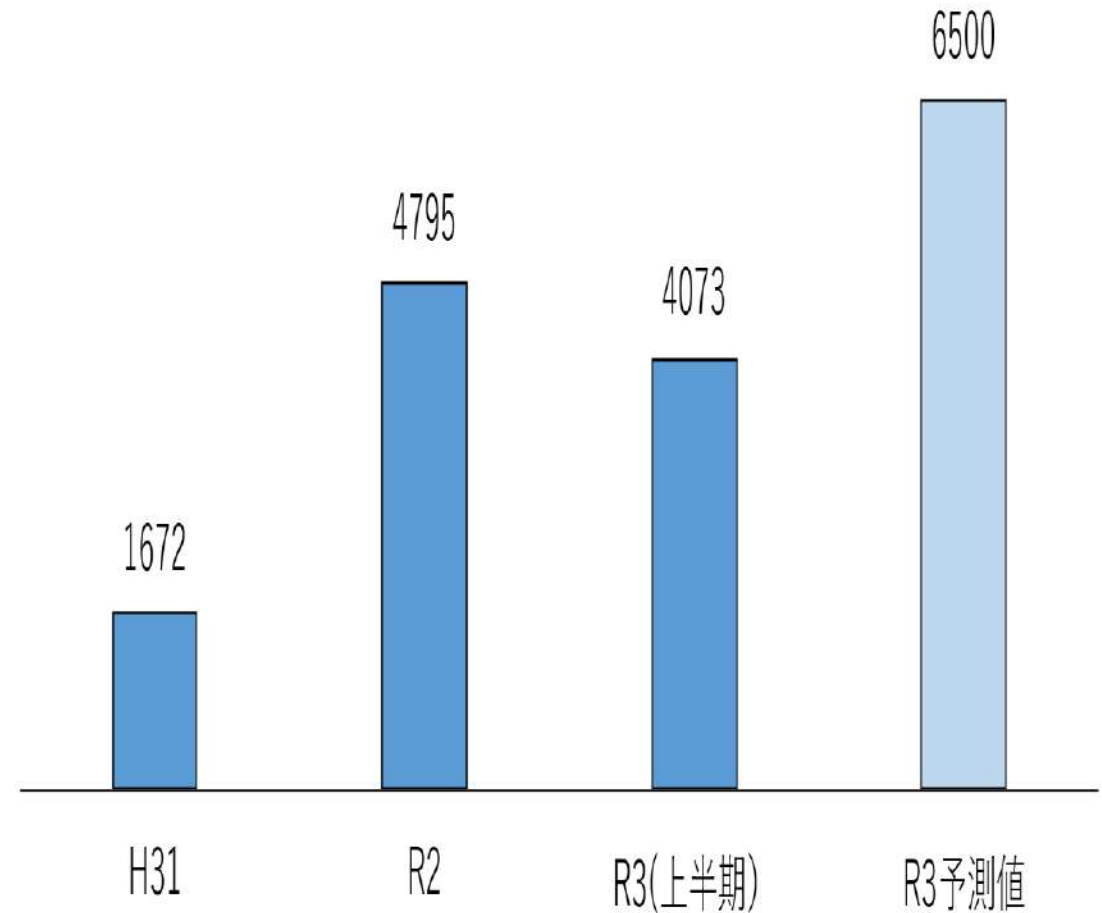
## ① 問題の気づきと話し合い

- ・コロナ禍による生活困窮者の増加の実態はどうなっているのか。
- ・地域のNPOは何をすべきか



## 四日市市の相談件数の現状

四日市市社会福祉生活支援室相談者のべ人数



## ②生活困窮関係者との対話・学習会 (生活困窮担当部署 (市役所・社会福祉協議会) ほか)

---



# ③生活困窮者サロンと対話 (無料食事つき)



毎週2回 17:00~19:00

田日市市 錦町栄町 2-9 三重興業社1F 氏名:  
トレーニングカフェ スプラウト  
TEL 090-5878-1975



## ④ 困窮者・スタッフ・ 関係者の中で 生まれるコミュニティ

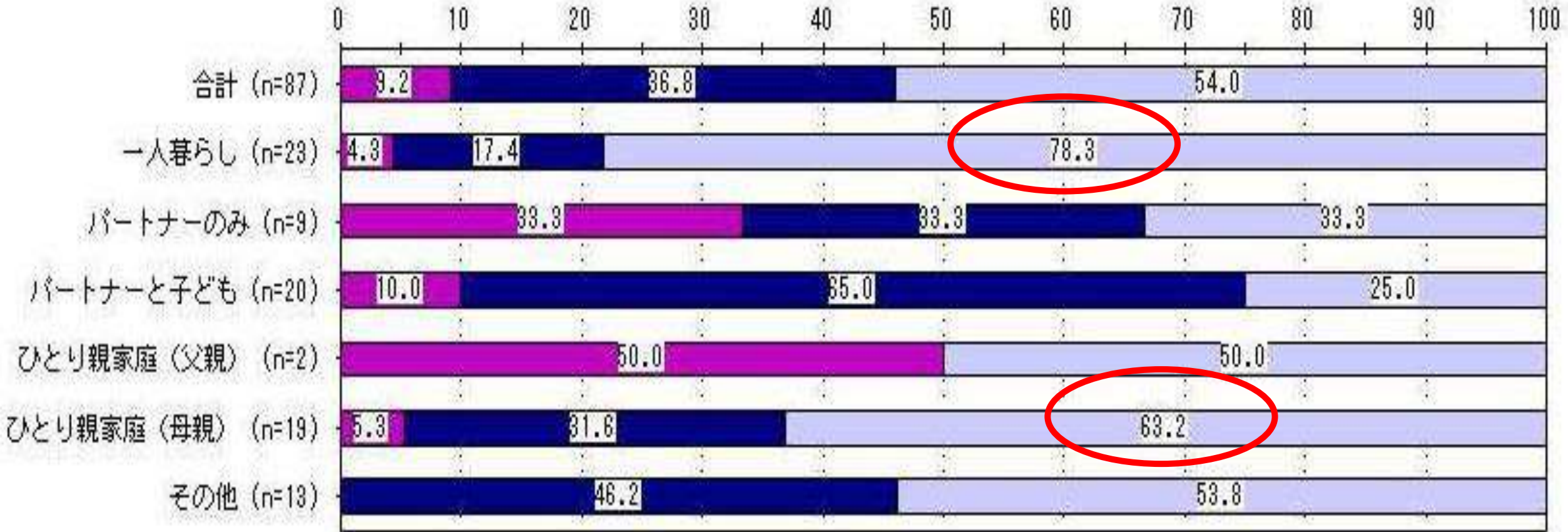
ボランティアで調理を担うラーメン屋のご主人



家族のような親しみやすさをつくりだす補助スタッフたち

# ⑤生活困窮者へのアンケート調査（社会福祉協議会の協力）

8 (1) あなたのつきあい（近所の人） × 世帯状況



資料：市民社会研究所「生活困窮者状況調査」2021年

よくつきあう    たまにつきあう    まったくつきあわない

## ⑥ 取組みの成果に基づくNPO・行政等との政策対話





# ⑦成果のまとめと公表



# ⑧市民のつながりによる 新たな事業の誕生



四日市市内22の中学校区で  
**こども食堂**  
を開催する  
**キックオフイベント**

とき  
2023 **2.19** 日  
10:00 ▶ 11:30

## つながりの仕事おこし事業

# 成果発表会



参加申込  
不要

さまざまな理由で就労が困難な人に対して  
一人一人に合った仕事を見つける「仕事おこし人」。  
①本人 ②伴走人 ③仕事おこし人 ④事業所の  
4つどもえの「仕事おこし」を紹介します。

### 仕事おこし事業とは？



### 「仕事おこし」の 事例紹介

### Q&A 意見交換

### 今後の提案

#### 日時

2023年2月26日(日)  
13:30~16:00

#### 場所

本町プラザ 1階ホール  
四日市市本町9-8  
TEL 059-354-8600  
駐車場は近隣のコインパーキングをお使いください



#### お問い合わせは

NPO法人 市民社会研究所

TEL・FAX

059-355-5115

E-mail ssk21ww@yahoo.co.jp

URL <http://www.yokkaichi-npo.net/>

## 4 NPOが政策提言をする意味

---

### (1) NPOにしかない政策形成力を発揮する

- ・課題当事者との同質性（同じ地域に居住／同じ課題の当事者）
- ・NPOは課題当事者の真のニーズを把握しやすい
- ・国や自治体も気づいていない課題の第一発見者
- ・NPOの活動は国・自治体の政策・事業の先どり

### (2) 住民自治・民主主義を実体化する

今の「当たり前」は

誰かの「ほっとけない」から始まっている...



国や自治体の政策

→自治体の政策課題に  
→社会全体の課題に

社会的認知

社会にひろげる

仲間で行く

NPO(市民活動)

気づき/ほっとけない

↑  
市民にしかできない領域  
課題に気づいた人が  
「ほっとけない」と行動

↑  
「現状の協働」の領域  
制度や税金でも支える  
事が可能な状態

資料：  
(公財) 京都地域創造基金  
代表 深尾昌峰氏